

2025年度事業計画

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

1. 第32回地域保健福祉研究助成

第19回シニアボランティア活動助成

第34回ビジネスパーソンボランティア活動助成

(定款第4条第1号並びに第2号に該当)

【受贈者の決定と贈呈式の開催】

公募申込の中から選考委員会で選定のうえ、理事会にて受贈者・助成金額を決定し、贈呈式を開催する。

(日 程)

- ・公募期間 4月1日(火)～5月25日(日) [当日消印有効]
- ・選考委員会の開催 7月22日(火)
- ・理事会の開催 選考決定
- ・贈呈式の開催 9月16日(火) 近畿地区贈呈式
9月29日(月) 関東地区贈呈式
9～10月 近畿・関東地区以外は原則として
各道県にて開催

(選考委員) (五十音順) (敬称略)

- 川崎 良 (大阪大学大学院医学系研究科 教授)
- 河野 公一 (大阪医科薬科大学 名誉教授)
- 齊藤 ゆか (神奈川大学学長補佐 人間科学部教授)
- 筒井 のり子 (龍谷大学社会学部 教授)
- 早瀬 昇 (社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長)
- 福島 若葉 (大阪公立大学大学院医学研究科 教授)
- 藤井 博志 (関西学院大学人間福祉学部 教授)

【事業内容】

(1) 地域保健福祉研究助成

①応募資格

- ・保健所、地方衛生研究所等衛生関係機関に所属する職員
 - ・都道府縣市町村の衛生および福祉関係職員
 - ・保健・医療・福祉の実務従事者
大学病院の職員等は応募対象者に含む。(ただし、大学の教職員、大学院生の研究は除く。)
- *ただし、前年度に当財団の助成を受けた人は除く。

②研究課題

- ・地域保健および地域福祉に関する研究
- ・在宅・施設の医療、福祉および介護に関する研究
- ・その他住民の健康増進に役立つ研究

- ③助成金額（総額 原則1,000万円以内）
1件 原則30万円
特に優秀な研究については50万円限度で助成

(2) シニアボランティア活動助成

- ①応募資格
社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア（年齢満60歳以上）が80%以上のグループ。
*ただし、過去3年以内に当財団の助成を受けたグループは除く。

- ②対象となる活動
- ・高齢者福祉に関するボランティア活動
 - ・障がい者福祉に関するボランティア活動
 - ・こどもの健全な心を育てるための交流ボランティア活動

- ③助成金額（総額 ビジネスパーソンボランティア活動助成と合わせて原則1,200万円以内）
1件 原則10万円
特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

(3) ビジネスパーソンボランティア活動助成

- ①応募資格
社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするビジネスパーソン（会社員、団体職員、公務員、経営者・個人事業主）が80%以上のグループ。
*ただし、過去3年以内に当財団の助成を受けたグループは除く。

- ②対象となる活動
シニアボランティア活動助成と同じ

- ③助成金額（総額 シニアボランティア活動助成と合わせて原則1,200万円以内）
シニアボランティア活動助成と同じ

(4) 2024年度研究・活動報告

2024年度「地域保健福祉研究助成」、「シニアボランティア活動助成」および「ビジネスパーソンボランティア活動助成」受贈者の研究・活動報告を確認し、「研究報告」は財団ホームページに掲載する。

2. 健康小冊子の発行

(定款第4条第4号に該当)

健康小冊子【No.77】を発行する。

タイトル：職場のメンタルヘルスケア

著者：喜多村 祐里 氏（大阪府健康医療部 保健医療室 副理事）

3. 福祉事業への助成

(定款第4条第5号に該当)

以下の福祉事業に対し助成する。

- ・ 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業（20万円）
「発達障害」とともに生きる 豊かな地域生活応援助成
発達障害に由来する困りごとに寄り添い、支援する活動や、その人の得意な
ところを伸ばすための活動を助成

以上